



ジュニアカクテルコンペティションに出場した大黒由佳さん

自慢のカクテルで勝負！

2/24 全国バーテンダー技能競技会
全国ジュニアカクテルコンペティション

バーテンダーたちがカクテルの技術などを競う「全国バーテンダー技能競技会」と「全国ジュニアカクテルコンペティション」の中日本地区本部決勝大会が、プラザ萬象で行われました。敦賀市内での大会開催は9年ぶりです。

敦賀支部からは、田中健太さんと大黒由佳さんがジュニアカクテルコンペティション（29歳未満）の部門に出場し、他支部のバーテンダーらとオリジナルカクテルの腕前を競いました。



ホームページ（<http://www.ton21.ne.jp/>）でも公開中！（ここに載せきれなかったイベントも掲載しています）

あなたが写っていたらご連絡ください。写真を差し上げます。

広報広聴課 ☎22-8112

懐かしい味を伝えます

2/12 ふるさと敦賀伝承料理講習会

古くから伝わる敦賀の味を伝承していこうと、年に4回行われている「ふるさと敦賀伝承料理講習会」が、北公民館で行われました。今回の料理は「ぼたもち」。敦賀市生活改善実行グループ連絡研究会の方々による指導のもと、北地区母親クラブのお母さんたちが挑戦しました。ふっくらと炊き上がったもち米をあんこで包んだり、きなこやごまをまぶしたりと、ひとつひとつ丁寧に作業。出来上がったぼたもちを試食すると、あちこちから「おいしい！」の声が上がりました。



教わりながらひとつずつ丁寧に作ります

焼きたての五平餅、いただきま〜す！

3/2 早春のふれあいフェスタ

少年自然の家で、早春のふれあいフェスタが行われました。約50人の親子が参加し、しいたけの菌打ちや五平餅作りを体験。五平餅作りでは、飯盒で炊いたごはんを割り箸に通し、手作りのみそだれをつけてU字溝で焼きました。子どもたちは、焼き上がったあつあつの五平餅をおいしそうにほおばっていました。



手作りの五平餅を食べる子どもたち

問合せ 文化振興課
☎22-8153



行列の様子

街角 NEWS

「杓見御田植祭」が
県の無形民俗文化財に
指定されました！

杓見区で行われている伝統行事「杓見御田植祭」が、2月22日に福井県指定無形民俗文化財に指定されました。

この「杓見御田植祭」は、毎年5月5日に杓見区の久豆弥神社と信露彦神社の合同で行われる春祭り。五穀豊穡を願うもので、中世の田植祭りの伝統を引き継いでいるといわれています。平成18年4月12日に市指定の無形民俗文化財に指定されています。



「王の舞」

祭りは、杓見区公会堂からスタート。伝統衣装に身を包み、神霊が降臨するといわれる「御幣」を持って、男宮・女宮それぞれの行列が、平安の『年中行事絵巻』さながらに信露彦彦神社・久豆弥神社へ向かいます。神社では、「王の舞」「獅子舞」「田植式（エブリ差し・苗打ち・田植歌）」を奉納。最後に、公会堂へ戻る道中で両社の御幣を合わせて、「ニタ九度の式」を行い、無病息災と豊作のご利益があるという御幣紙を区の人たちで取り合います。

努力の結果です！

2/20・21 各種コンクール・大会等成績報告会

児童生徒が参加した各種コンクールおよび大会等での成績報告会が、敦賀市役所で行われました。20日にスポーツ部門、21日に文化部門が行われ、市内の小・中学生が賞状などを見せながら吉田勝教育長に報告しました。「これからもがんばってください」と言葉をかけられると、児童生徒たちは「はい」と力強く返事をしていました。



教育長と言葉を交わす子どもたち

「人道の港 敦賀ムゼウム」が開館！



ポーランド孤児、ユダヤ人難民などをテーマにした「人道の港 敦賀ムゼウム」が開館します。これまで旧敦賀港駅舎で「人道の港 敦賀」としてパネル展示を行っていましたが、金ヶ崎緑地休憩所（大和田別荘）に場所を移し、内容を一新してオープンします。

★「ムゼウム」とは、ポーランド語で「資料館」の意味です。

完成式典

とき 3月29日 10時

ところ 金ヶ崎緑地休憩所
（大和田別荘）前

式典終了後、一般公開します。

★3月中の入館は無料（4月からは協力金をお願いします）

問合せ 国際交流貿易課

☎22-8129

今年も、花換えましょう。

花換まつり

4月1日 貂く 15日 貂 金崎宮にて

敦賀の春の風物詩「花換まつり」を今年も桜の名所「金崎宮」で開催します。

この花換まつりは、人と人とを結ぶ縁結びのお祭りです。『花換えましよう』と声を掛け合い、手に持った桜の小枝に想いを託し、交換し合うことによって幸せになれると言われています。

期間中には福娘との「花換え」を毎日行っており、4月6日からは和服姿で恋の成就を祈願する「恋の成就祈願祭」を行います。また、「花換え占い村」、豪華商品が当たる「大抽選会」、期間中だけの特別な金崎宮の小判型お守りや破魔矢などが当たる「花換神事」など、ご家族やお友達で楽しめるイベントを予定しています。

福娘と交換する桜の小枝には、「大抽選会」の抽選券と「花換神事」の抽選番号が付いています。

問合せ

【平日】 譚敦賀観光協会

☎22・8167

【土日祝】 敦賀観光案内所

☎21・8686

期間中は毎日18時～22時まで
夜桜ライトアップを行っています

花換まつり「恋の成就祈願祭」
和服姿での参加者募集

とき

4月6日 8時～10時30分

金前寺(金ヶ崎町1-4)に集合
11時～祈願祭開始

参加資格

和服姿で参加できる未婚の女性
募集人数 先着50人(参加無料)

応募方法

住所 氏名 生年月日 連絡先 着付けの希望の有無を記入の上、送付、直接持参またはFAXにて申し込みください。

いただいた個人情報、参加受付以外には一切使用しません。

応募締切 3月24日(当日消印有効)

その他

参加者の中から抽選で1人に5万円分のクーポン、その他豪華賞品があたる抽選会もあります。

着物の着付け希望の方は、こちらで着付けを行います(無料)。

問合せ・申込先

〒914-0051

敦賀市本町2丁目1-20

譚敦賀観光協会 ☎22・8167

☎22・8197

第9回

だのせ祭り

で頑張っている人

敦賀市民

69,030人中

【2月29日現在】

シリーズ

わたしら、 がんばら

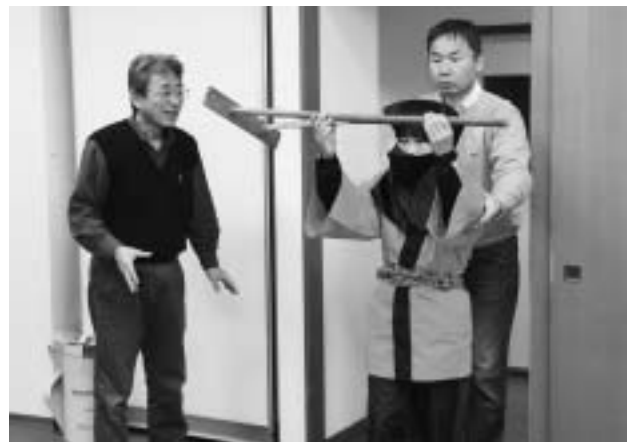


今回はだのせ祭り
で頑張っている団体を
紹介します!

野坂だのせ保存会



今年の祭りで威勢良く田植え踊りを踊る保存会の皆さん。一番高く足を上げているのが辻川さん。



熱心に子どもたちを指導する保存会の方。左が川端会長。

リズムの良い掛け声「だーのせーのやー」が特徴の、野坂区の伝統行事「だのせ祭り」。室町時代から伝わるお祭り、チサの棒を太鼓の上に振り下ろす「田打ち踊り」と、杉の葉を持ち背中合わせになって舞う「田植え踊り」を男衆が披露します。

この伝統行事を守っていかうと活動しているのが、今回ご紹介する「野坂だのせ保存会」の皆さんです。保存会は、区内に新興住宅地ができたときに、新区民の方にも祭りを知ってもらおうと、昭和四十七年に結成されました。昭和五十五年には、祭りの後継者育成のために、子どもたちへの踊り伝承活動を始めました。現在も、祭り数日前から踊りの講習会を開き、経験者の大人が身振り手振りで熱心に指導し、後継者育成に取り組んでいます。

この活動の甲斐あって、二年前から、子どもたちに祭りを体験した若者が保存会に入りました。その若者は辻川正行さん(二十七歳)。小学生のときから祭りに参加し、大学を卒業して敦賀に戻ってきたから、再び祭りの舞台に戻りました。辻川さんは「小学生の気分をやっている」と、他の誰よりも高く足を上げて踊り、年配の方と一緒に祭りを盛り上げています。

今年から保存会会長を務める川端一男さんは、「人集めがすごく大変なので、辻川くんのような若者がもっと出てきてくれるとうれしい。伝承活動

いつまでも「だーのせーのせーのやー」の掛け声が区内に響き渡るように!

頑張れ!
野坂だのせ保存会!



野坂だのせ保存会の皆さん。

の成果が出たと思う」と喜び、今後の保存会活動について「伝統行事は続けることに意味がある。一回やめたらもう終わり。時代は変わっているのに、今に合わせた形で今後も続けていきたい」と目標を話します。

各地で伝統行事の後継者不足が叫ばれる中、祭りの意義を感じ、継続に力を入れる野坂だのせ保存会の皆さん。今後も、区民の先頭に立って祭りを守っていきます。